

やちよ 上下水道だより

第40号
令和8年
(2026年)
3月15日

●給水人口 206,460人
●給水普及率 99.2%
●下水道処理区域内人口 192,377人
●下水道普及率 92.4%
(令和7年9月30日現在)

上下水道耐震化計画に基づき陸浄水場受水池の耐震補強工事を進めています

八千代市では、上下水道耐震化計画に基づき、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向けて耐震化に取り組んでいます。本市の配水施設の中でも最も重要な受水設備及び導水施設を最優先で耐震化することを目標としており、現在、陸浄水場受水池の耐震補強工事を進めています。

受水池は、浄水された水（水道水）を一時的に蓄えるための池（有効容量10,000m³）であり、水道水を皆さまにお届けする上で重要な施設です。また、災害時には、水道水の確保が求められます。このため、受水池は外部からの汚染を防ぐために水密性が高く、衛生的で、かつ耐久性・耐震性に優れていなければなりません。

陸浄水場受水池の耐震診断を実施したところ、一部で耐震性能が不足していることがわかりました。耐震補強工事を進めることで、構造の強化や水密性の向上、衛生対策を施すことで将来にわたり安全で安定した水の供給の確保を図ります。

主な工事内容は以下となります。

1. 鉄筋量の増強（コンクリート内部の補強筋を垂直方向と水平方向の順に増設）
2. 床の厚さを増やす（コンクリートを鉄筋が隠れる高さまで追加）
3. 内部防水塗装（受水池内に防水塗料を塗装し水密性・衛生性を向上）

さらに、地震時に受水池内の水が流出しないよう緊急遮断弁※の新設工事も合わせて進めており、令和9年2月の工事完成を目指しています。工事期間中は、近隣住民の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、事故などが無いよう安全には十分注意しながら工事を進めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

※ 緊急遮断弁…地震などの強い揺れを感知した際に、受水池や配管内の水の流れを迅速かつ自動的に遮断し、受水池内の水道水を確保するための安全装置です。



受水池外観(内径35m/有効水深10.5m)



受水池内耐震補強工事の施工状況(1.鉄筋量の増強)

垂直方向に増強した鉄筋

年度ごとに水質検査計画を改訂しています

市民の皆さまに安心して飲んでいただける水道水を供給するために、毎年、水質検査計画を改訂しています。この計画は、「どの場所で」「どの項目を」「どのくらいの回数か」などを載せてあり、八千代市の水道水質検査の一年間の予定がわかる内容となっています。

本計画については、上下水道局上水道課、市役所の法務課情報公開班で閲覧することができます。また、ホームページでも見ることができます。



水質検査のための採水の様子

【水道水の水質情報】

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/site/jougesui/54927.html>



2月・3月検針分の水道基本料金を免除します

物価高騰の影響による経済的負担の軽減を目的に、官公署を除くすべての給水契約者の水道基本料金を免除します。

＜対象期間＞

●偶数月検針の場合

2月検針分（1月24日～2月19日に検針した分）

●奇数月検針の場合

3月検針分（2月20日～3月24日に検針した分）

※検針は2か月に1回です。

検針時に投函する「使用水量のお知らせ」は免除前の金額です。

後日、水道基本料金分を差し引いて請求します。

■免除する水道基本料金（2か月使用の場合・税込）

水道メータ口径	基本料金	水道メータ口径	基本料金
13mm	1,320円	40mm	10,626円
20mm	2,684円	50mm	22,330円
25mm	3,982円	75mm	43,538円
30mm	6,226円	100mm	73,194円

検針は地域ごとに偶数月・奇数月の2か月ごとに実施しているため、継続利用者は2か月分の水道基本料金が免除されます。引越などで使用期間が2か月に満たない場合でも、使用期間に応じて0.5か月単位で免除します。下水道使用料のご請求金額に変更はありません。

給排水相談課（令和8年4月以降は経営企画課）
電話：047-483-6155

【水道基本料金の免除について】

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/site/jougesui/5175.html>

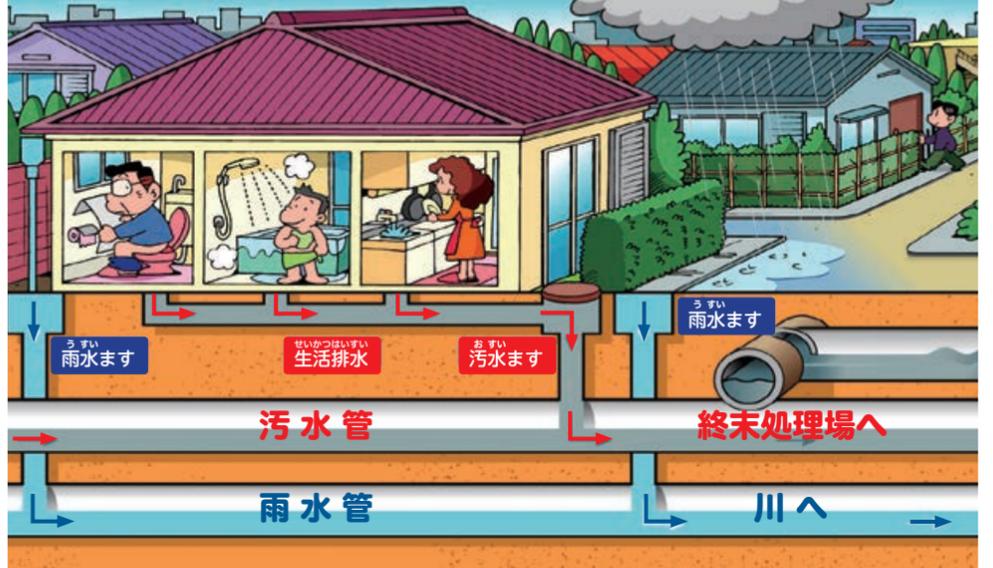


私たちが使った水はどこへ

私たちが普段、トイレやお風呂、洗濯などに何気なく使っている水は、どこへ行って、どうなるのでしょうか？流れを追ってみましょう。

八千代市の污水は下水道管を通り花見川終末処理場・花見川第二終末処理場へ

私たちが使った水(污水)は、地下にある下水道管(污水管)に流れ、花見川終末処理場・花見川第二終末処理場へと流れていきます。また、雨水は下水道管(雨水管)へと流れ、その後、新川や花見川などへ流れていきます。



八千代市では2箇所の污水中継ポンプ場を設置しています

污水は、自然流下のため、下水道管の延長が長くなると埋設位置が深くなってしまい敷設することが難しくなっています。そのため、途中でポンプ場を設け、高いところへ污水をくみ上げて終末処理場へ流しています。



北部中継ポンプ場 (米本)

村上第2污水中継ポンプ場 (村上南)

八千代市から流れる污水の量は、どれくらい？

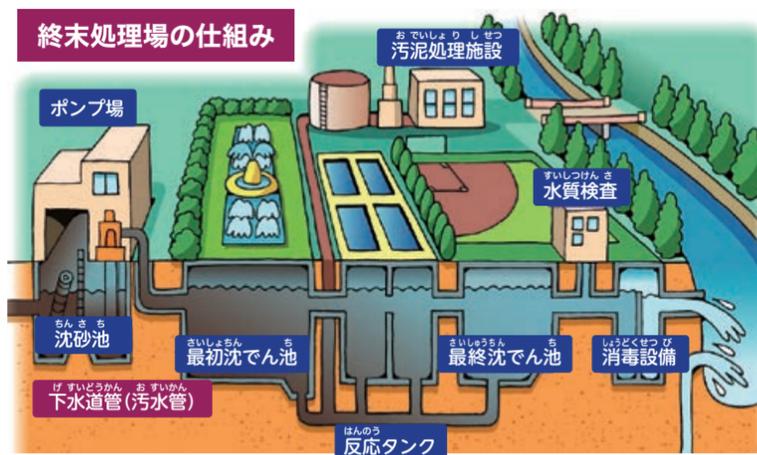
1日平均 約57,000m³ (1年間 約20,800,000m³)

毎日、小学校のプール約160杯分の污水が流れていることになります※プールの大きさ 25m × 12m × 1.2m

終末処理場で污水はきれいな水に生まれ変わります

污水は、人が歩くほどの速さ(時速約4km)で大小さまざまな大きさの下水道管(污水管)の中を進み、東京湾に面した2つの終末処理場(千葉市美浜区)へ流れ着きます。

沈砂池や最初沈でん池でゴミや砂が取り除かれ、反応タンクで水の汚れを食べる微生物の力を借りたり、様々な過程を経て、きれいな水(処理水)になります。



花見川第二終末処理場

花見川終末処理場

資料提供:(公財)千葉県下水道公社

きれいな水になった処理水は、花見川などに放流され、東京湾へと流れていきます。このようにして海に流れていった水は、太陽の熱で温められ、蒸発し、やがて雲となり、雨や雪となって地上に降り、また、私たちの生活に必要な水として、戻ってきます。

その他にも、トイレの水や公園の噴水などに利用されたり、熱エネルギーを冷暖房に使ったり、汚泥を肥料やセメントの原料・資材に加工したり資源としても役立てられています。

汚れた水をきれいにする費用として八千代市は流域下水道維持管理費を負担しています

家庭や事業所から流れた污水は、八千代市が管理する污水管を流れた後、千葉県が管理する「印旛沼流域下水道」の管を流れて、花見川の河口付近にある終末処理場へ流れていきます。八千代市が関連団体となっている印旛沼流域下水道は、13市町的生活排水や工場排水を広域的に集めて、終末処理場で浄化し、公共用水域に放流する大規模な下水道となります。この終末処理場での浄化などに必要となる電気代や薬品代などの経費が流域下水道維持管理費となります。

八千代市では、令和6年度実績で、約13億円を負担しており、市全体の污水处理費の約50%を占めています。

●宅地内の漏水及び給水装置の故障・修理のご案内

給排水相談課 (令和8年4月以降は経営企画課)

電話: 047-483-6155

※平日 午後5時15分~翌午前8時30分及び土日・祝日は当直が対応します。

●水道の開・閉栓及び水道料金・下水道使用料のお問い合わせ先

(お問い合わせの際には ①住所 ②氏名 ③検針票及び納入通知書に記載のある使用者番号をお知らせください)

窓口: 上下水道局お客様センター

住所: 八千代市大和田新田312-5 上下水道局1階

営業時間: 月~土 (日曜・祝日・振替休日・年末年始(12/29~1/3)は休み)

午前8時30分~午後5時15分

電話: 047-409-8655

※長期不在(2か月以上)の際は閉栓のご連絡をお願いします。

●インターネットで水道の使用開始・中止などの届出ができます。

「八千代市上下水道局お客様センターインターネット受付」を利用して、水道の使用開始・中止の届出のほか、名義変更や口座振替依頼書送付のお申し込みをすることができます。

■八千代市上下水道局お客様センターインターネット受付

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/site/jougesui/34923.html>



●公共下水道利用の井戸水使用の方へ

井戸水使用の方で、使用人数に変更があったときは、上下水道局給排水相談課(令和8年4月以降は経営企画課)(電話:047-483-6155)へご連絡ください。

やちよ上下水道だよりに関するご意見・ご感想は、八千代市上下水道局経営企画課まで
住所: 八千代市大和田新田312-5 電話: 047-483-6572

